

おおたUDライフ

-外見ではわからない内部障がいについて知ろう！-

内 部障がい

内部障がいとは、体の内部に障がいがあることをいいます。外見からは分からないのですが、疲れやすかったり、タバコの煙で苦しくなったり、トイレに不自由したり、携帯電話の電波が悪影響となったりするなど、周囲の方の理解と配慮を必要とする障がいです。

例えば、内部障がい者には、次のような方がいらっしゃいます。

呼吸器機能障がい

肺の機能の低下により、酸素と二酸化炭素の交換がうまくできなくなる状態のことです。呼吸器機能障がいのある方には、酸素吸入するために、常に酸素ボンベを携帯している方もいます。



膀胱・直腸機能障がい

尿をためる膀胱、便をためる直腸が、さまざまな病気のため機能低下または機能を失った状態のことです。排泄物を体外に排泄するための、人工肛門・人工膀胱を造設する方(オストメイト)もいます。



心臓機能障がい

全身に必要な血液を送り出す心臓の機能が低下した状態のことです。心臓の収縮のリズムが不規則な方は「ペースメーカー」という医療機器を胸部に埋め込んでいます。

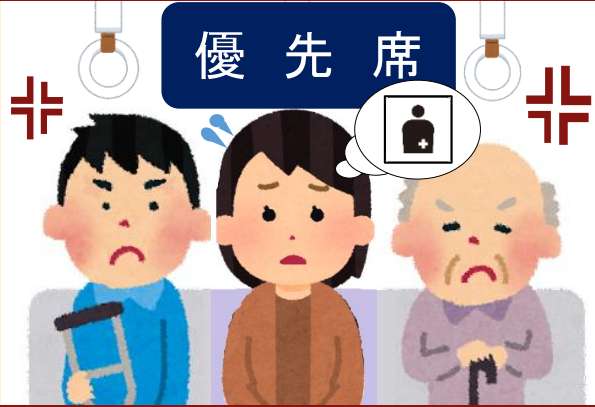


ほか腎臓機能障がい、肝臓機能障がい、小腸機能障がい、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能障がいがあります



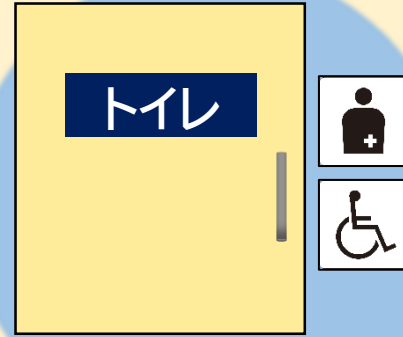
大田区で暮らす様々な方に、日々の生活にユニバーサルデザイン(UD)の考え方を取り入れ、参考としていただくため、ユニバーサルデザインや心のバリアフリーについて紹介しています。今回は外見では分かりづらい内部障がいとその方々への配慮を紹介いたします。

＼困りごとの例／



外見で分からないため、
理解されづらい。

→外見では分からない障がいがある
ということを認識し、様々な不便さを
理解することが大切です。



使えるトイレが限られる。

→設備を必要としている人の存在を理
解し、必要な人が使えるよう、一般トイ
レを使用する等配慮しましょう。



障がいに伴って、全身状態が悪く、
疲労感がある。

→障がいのある臓器だけでなく、障
がいに伴った困りごとがあることを
認識しましょう。

＼これらの困りごとはあくまで一例です！／

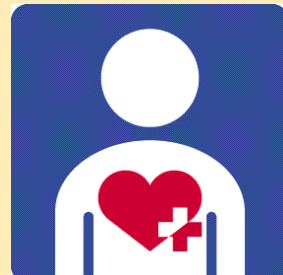
障がいや相手のこと理解し、必要としている支援をすることが大切です。

内部障がいに関するマーク



オストメイトマーク

オストメイトを示すシ
ンボルマークです。
オストメイト対応のトイ
レ等の設備がある
ことを示す場合など
に使用されています。



ハート・プラスマーク

内臓に障がいのある方
を表しています。
外見からは分かりにく
い、内部障がいの方の
存在を視覚的に示し、理
解と協力を広げるため
に作られたマークです。



身に着けることで援助の必要を知らせる
ヘルプマーク
ヘルプカード(たすけてねカード)
もあります！